
“2030ビジョン”第12回検討会

配布資料 (B日程バージョン)

検討会の進め方	P 1
ディスカッション 「2030年の暮らしと社会」 ワークシート	P 2
ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法」 過去検討会纏め資料	P 4 - P 13

テーマ「目指す国のカタチ」

進め方

- 「2030年の暮らしと社会」 ディスカッション
- 「5つのテーマの方向性」 ディスカッション
- 「全体コンセプト」 ディスカッション
- 事務連絡・アンケート記入

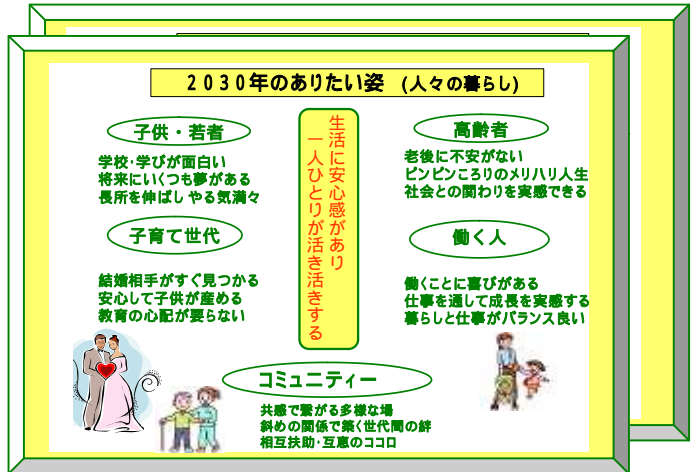
B日程

- 14:00 - 15:10
- 15:10 - 16:00
- 16:00 - 17:00
- 17:00 - 17:15

ディスカッション 「2030年の暮らしと社会」
= GNHの視点も加えて考えてみる =

20年後、どのような暮らし方をしたいか？
どのような価値観の社会になりたいか？

・GNH(国民総幸福)で挙げられている
”基本的な生活、健康、教育、時間の使い方
文化の多様性、コミュニティの活力”などの
視点も含めて考えてみましょう。



ディスカッション
「のありたい姿を実現する方策は？」
= これまでの検討会纏めも踏まえて =

- 食料とエネルギー供給をどうするか？
- 経済をどう捉えるか？
- 福祉の充実と財政との両立
- 生き生きしたコミュニティをどうするか？
- 教育をどうするか？

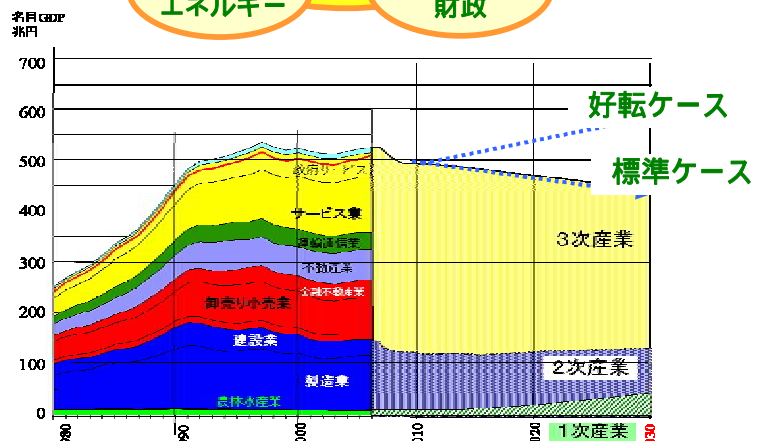


ディスカッション 「全体コンセプト」

経済成長に頼らなくても
「皆が希望を持てる
幸せで持続可能な国」



- ～資本主義と社会主義がバランスした社会
アメリカ型ではなく、
ヨーロッパ型の福祉国家を目指す
- ～農業の再生、自然エネルギーへの転換
自給率を高め、循環型システムを導入し
持続可能な社会を目指す
- ～自国に誇りを持ち、世界に貢献できる
伝統的な文化や平和思想を大切に
多様性を認める社会をつくり出す



ディスカッション

= GNH(国民総幸福)の9つの視点 =

「2030年の暮らしと社会」
= GNHの視点も加えて考えてみる =

- 基本的な生活 living standard
- 文化の多様性 cultural diversity
- 感情の豊かさ emotional well being
- 健康 health
- コミュニティの活力 community vitality
- 教育 education
- 時間の使い方 time use
- 自然環境 eco-system
- 良い統治 good governance

	どのような暮らし方をしたいか？	どのような価値観の社会になりたいか？
暮らし コミュニティ	例 基本的な生活の基盤となる”住まい”を誰でも得ることができる	
子育て 教育		
福祉 医療		
産業 雇用		
経済 財政		
食料 エネルギー 環境		
皆が 希望を持てる 持続可能な 社会	例 誰もが自分の居場所を持ち、人のために役立てる出番がある	

ディスカッションのためのワークシート

“2030ビジョン”第12回検討会

配布資料 (B日程バージョン)

ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法」 過去検討会纏め資料

食料とエネルギー供給をどうするか	P 4 - 6
経済をどう捉えるか？	P 7
福祉の充実と財政の両立	P 8 - 9
生き活きたコミュニティーをどうするか？	P 10 - 11
教育をどうするか？	P 12 - 13

ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法？」

= これまでの検討会纏めも踏まえて =

食料とエネルギー供給をどうするか？

【基本コンセプト】

- 農林水産業全体を国の財産と考え皆で守る
- 石油や化学肥料に頼らない農業を取り入れる
- エネルギー消費を極力抑えて、脱化石燃料社会を目指す
- 各地域特性に応じた「食 x エネルギー x 産業」を確立する

【実現に向けた方策案】

農業の付加価値アップ = 6次産業化

- ・生産 + 加工 + 流通・販売・飲食
- ・百姓 ~ いろんなことをやる
- ・特産品、ブランド化
- ・ネットでの口コミ文化を活かす
- ・稲作 / 畑作 二期作 酪農・堆肥 ミックス

農業でも安心して食べていける社会づくり

- ・戸別食料安全保障
(生産者と消費者の直接契約)
- ・過疎の集落にも学校、診療所、商店がある
- ・生活の基本は無償化する
子育て、教育、医療・介護 住居

農家に嫁が来やすくする

- ・組織的な農業で忙しさを分散
- ・農業をカッコ良いと思える教育
- ・農業が楽しいと思える経験
- ・ファッションを良くして、ファーマーイメージを変える
- ・企業CSRを促して農業に協力させる
- ・ブランド農家を育てる

脱化石燃料のシステムを確立する

- (4月検討会より)
- ・脱自動車交通インフラ
- ・ハイブリッド、小型EVへの移行
- ・貨物輸送を少なくする(小口配送を止める)
- ・鉄道、海運の活用
- ・低付加価値二次産業廃止

産業構造の改革

- ・地産地消 地方集荷デリバリー
- ・農協を近代化する
- ・流通を含めたビジネス形態の進化
- ・ITの活用による、農業生産性アップ
- ・ITの活用による、流通改革

中山間地を上手に活かす

- ・林業 + 農業 + 酪農の融合
- ・牛、ヤギの放牧で下草取り、100%国産牛乳
- ・山林の保水、環境保全価値に対価を払う
- ・景観、環境保護、有機農業への戸別保障
- ・バイオマス + 水力発電 + 観光ビジネス

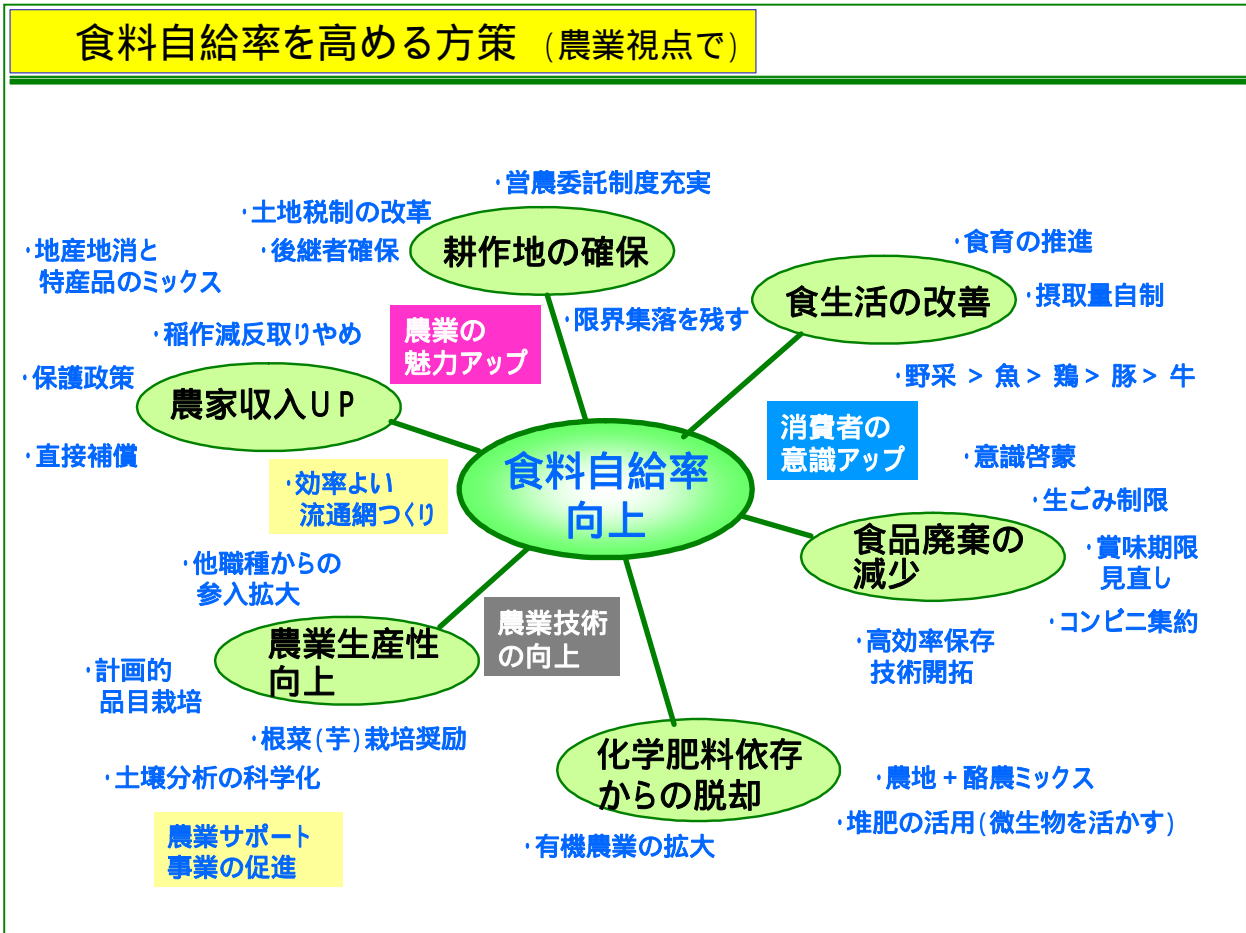
食料安全保障の法整備

- ・国産飼料義務化
- ・酪農 耕作
- ・荒地空地 農地
- ・エネルギー優先使用

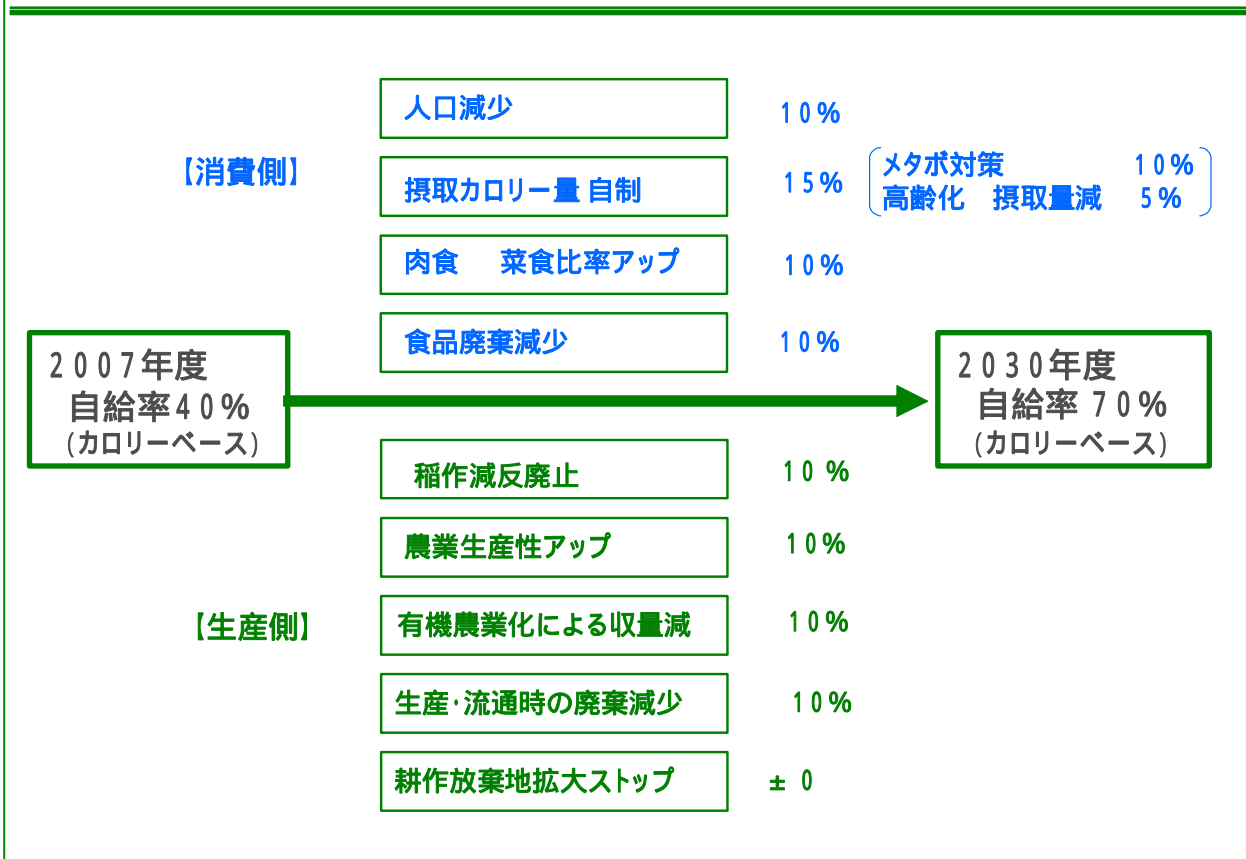
地域毎「食 x エネルギー x 産業」戦略

- ・太陽光、風力、地熱、小水力、波力
バイオマスをエリア毎にベストミックス
- ・固定価格買い取り & 高自給率奨励金
エネルギー税により再配分
- ・木質チップのエネルギー活用

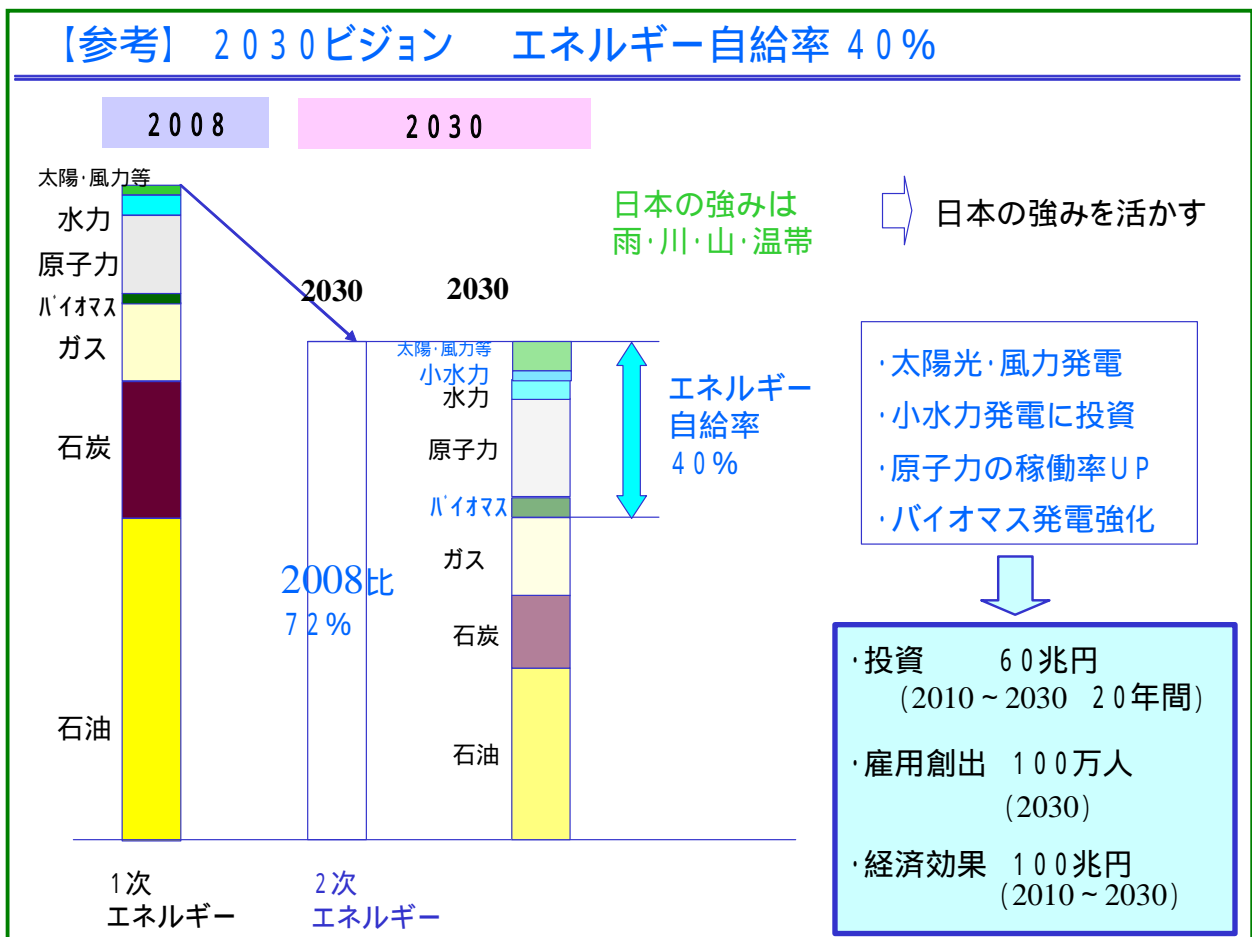
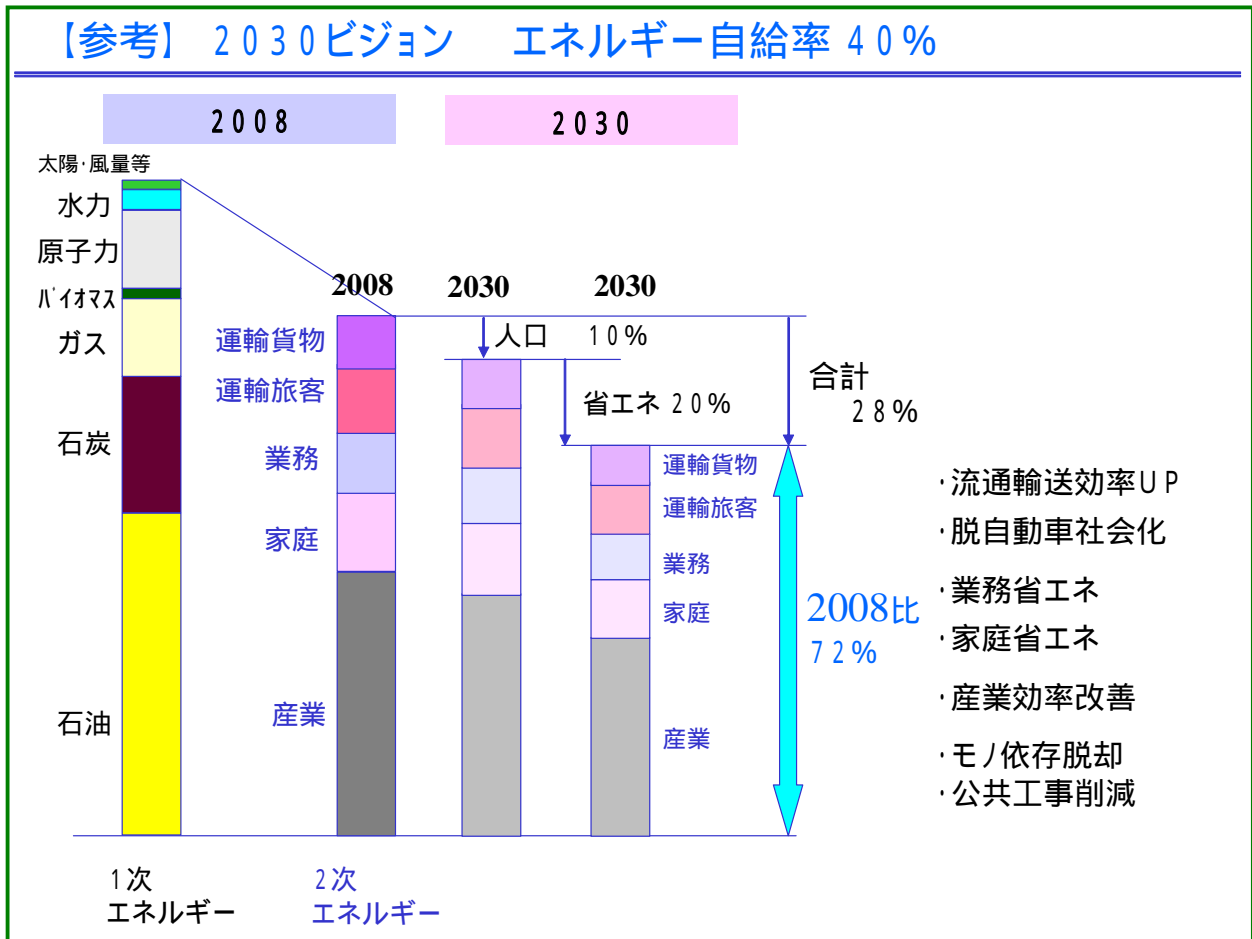
【付録】食料自給率アップの考え方 (第回検討会 4月2日資料より)



【参考】2030年 食料自給率70% シミュレーション



【付録】エネルギー自給率アップの考え方 (第3回検討会 4月2日資料より)



ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法？」

= これまでの検討会纏めも踏まえて =

経済をどう捉えるか？

【基本コンセプト】

経済は人々を幸福にするための手段であって目的ではない。

経済的な余裕という意味で、経済が成長するのは悪いことではないが、あくまでも無理がなくバランスがとれた活動の成果であるべきだ。

一人ひとりの人が生き活きし、多様性が尊重できる社会をつくることができ、かつ自然との調和が図られるような経済を志向することが大切である。

【実現に向けた方策案】

- 経済サイクルの変動をなるべく少なくする
- ・景況に一喜一憂せず、大きな流れで捉えること
- ・自由放任経済ではなく適切な制御をする
- ・失敗から学ぶ仕組みを導入する
- ・投機的な資金の流れを抑制する
- ・国際連帯税を導入・定着させる

- 働く喜びを実感できることが大切
- ・一人ひとりに働く場があって活かされる
- ・人が有機的に動いて価値を生み出せる社会
- ・ワークライフバランスが確立される
- ・子育て重視

- 原資を確保した上で再配分する良い仕組みをつくる
- ・一人当たりGDPはキープまたはアップしたほうが良い
- ・大きな集団や強い集団に属さない人達の声を活かす
- ・多様性を尊重し、公平・公正な配分をする
- ・ベーシックインカム的な考え方を導入し、再チャレンジできる社会

- 人材の流動性を高める
- ・NPO・非営利セクターの拡大
- ・官・民の人材シャッフル
- ・ベンチャー活性化
- ・アジアの国々との人材交流

- 雇用が維持できるような内需を確保する
- ・環境・エネルギー産業を二次産業の柱にする
- ・医療・福祉産業で三次産業を活性化する
- ・人間が成長した要因である“3世代同居”を復活させる
- ・助け合いを経済に組み込む
- コミュニティ、コレクティブハウス、ボランティアなど

- 生きる基本である一次産業を再生する
- ・土建業労働人口500万人の半分を吸収
- ・農林水産業が一体となり持続可能な食と自然の社会システムをつくる
- ・食料危機により相対的な価格競争力アップ
- ・国家資本として優遇する

- グローバルな視点を大切にして外需を確保する
- ・日本だけで経済成長を完結することはできない
- ・アジアとの共生 win = Winの関係
- ・海外での出稼ぎによる送金を考える
- ・物流・貿易の活性化
- 中国インドの賃金が上昇すると、価格競争力は回復する。

ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法？」

= これまでの検討会纏めも踏まえて =

福祉の充実と財政との両立

【基本コンセプト】

人を活かすことで経済を活性化し、財政バランスも改善し、将来への不安をなくす

多様な働き方、生き方が認められ、何度でもチャレンジできる社会をつくる

成功モデル（ロールモデル）があり、人々が目指す姿がみえる社会

超少子高齢化社会の先進的なトップモデルになる

= ゆとりあるライフスタイルを実現できる国 =

【実現に向けた方策案】

人を活かすことで経済を活性化する

- ・働く場での自由度を増やし、やる気を増す
- ・時間を短縮して気持ち良く働けるようにする
- ・自由な時間を活かして、次へのチャージをする
- ・人びとが支え合って、価値を生む社会とする
- ・残業ゼロ + 週休2日の徹底

多様な働き方を実現する

- ・会社に行かなくても良い働き方
- ・雇われるのではなく 平等のパートナーとしてワークとライフのバランスは自分で決める。

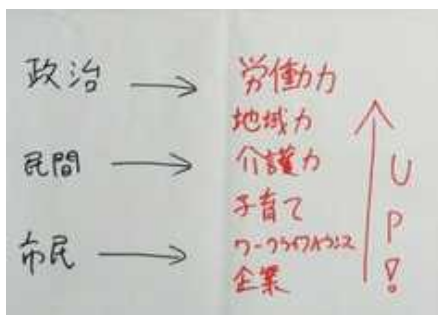
人へのサービスに投資、出資する

- ・子育ては最大の社会資本投資である
- ・医療介護は、雇用と産業の創出である
- ・年金は使われれば社会に還元される金貯蓄に回せないカタチで支給する（高齢者の安心感を高めることも同時に必要）

経済成長しなくても、財政赤字を減らす

- ・浪費をなくして支出と収入のバランスを取る
- ・資産家から税で回収する 固定資産累進税
- ・高額所得者から還流 物品税 持続可能社会税

役割に応じそれぞれのセクターが努力



男性の価値観に支配された社会から抜け出す

- ・女性だけのコミュニティを拡げる 周りのコミュニティと繋がる
- ・ママの働くが自由で楽しいものとする
- ・働きたい主婦が働ける社会にする
- ・男女平等基本法を進化させて遵守（ペナルティ制度）
- ・女性の議員比率を30%以上に高める

社会の子育て力を高める

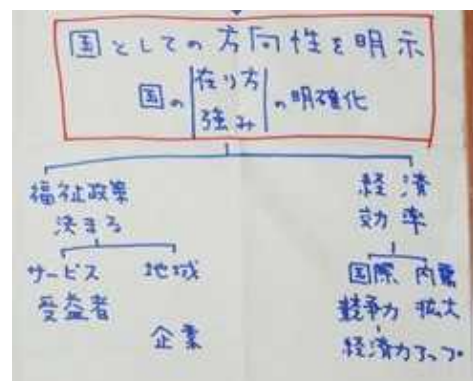
- ・育児休暇が常態的に取れる仕組み
- ・地域が一緒になって子育てできる環境
- ・出産、育児、教育無償化 = 現物給付
- ・家族関係支出を10兆円規模に

社会の医療介護力を高める

- ・介護休暇が当たり前が取れる仕組み
- ・地域が一緒になって介護できる環境
- ・健康な体を保つ仕事や役割がある
- ・病気のレベルに応じた受診マインド
- ・地域に必ず医療機関がある

国としての方向性を明確にする

= 国の強みを明確にしたうえで =

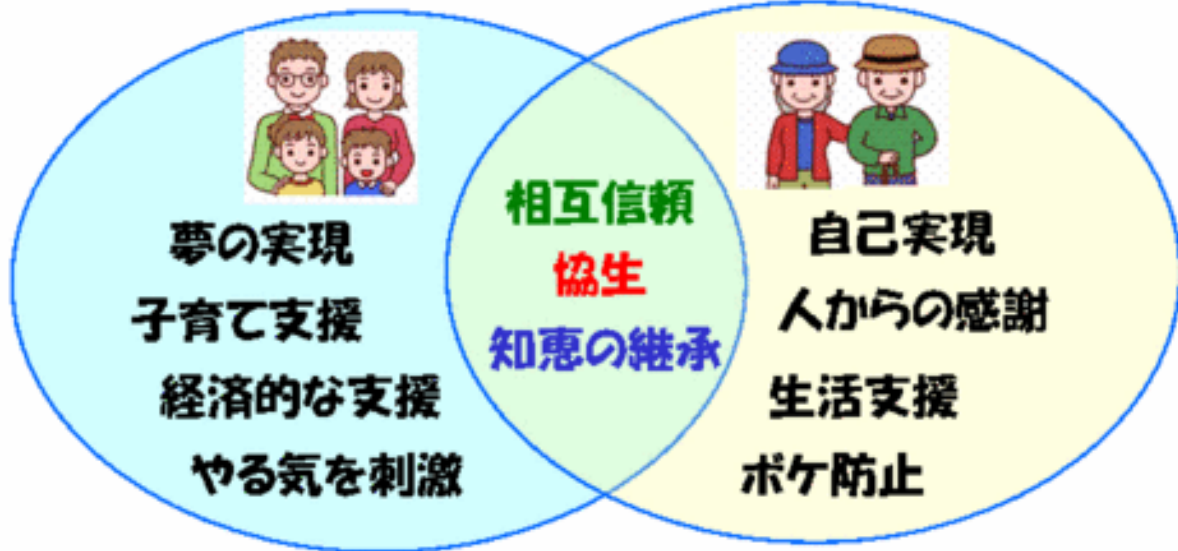


【付録】社会に活かせるシニアパワー！（BNJ 真夏のポリシーフェスタ 8月2日資料より）

◆ 社会に活かせる、シニアパワー！

シニアパワーはカネだけではない。
⇒ 知恵、人脈、技術、情報、...

若者とシニアの Win-Win 関係構築



若者にカネを、シニアに愛を

◆ 社会に活かせる、シニアパワー！



社会貢献 = 自己実現 = 尊厳 を実現

ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法？」

= これまでの検討会纏めも踏まえて =

活き活きしたコミュニティをどうするか？

【基本コンセプト】

地域コミュニティの対話の場を通して互いを知り、支えあう気持ちを持つ

職住近接で街・環境を充実させる（自然豊かなゆとりある暮らし）

シニアが街に出て、街のために働く 生きがいが出て病気にもならない

街の将来を自分たちで考え、自分たちで経営する意識を持つ

【実現に向けた方策案】

子育て・教育も皆で面倒をみる

- ・地域コミュニティーを活かす
- ・親たちの垣根をとること
- ・ソーシャル資本をもっと活かす
- ・シニアの知恵や時間を活かす

職住近接が自然

- ・日が暮れると家に帰るのが自然な姿
- ・労働時間を短縮すれば良い
- ・地域の中に働く場があればよい
- ・昔の農家のような生活がよい
- ・生産者 消費者が近づく

街・環境を充実させる

- ・地域にお店がある
- ・祭りや共有するイベント、集う場がある
- ・自治体がNPO化
- ・市民が取り組む事業仕分け
成果の1割は住民に還元
(地域通貨などで)

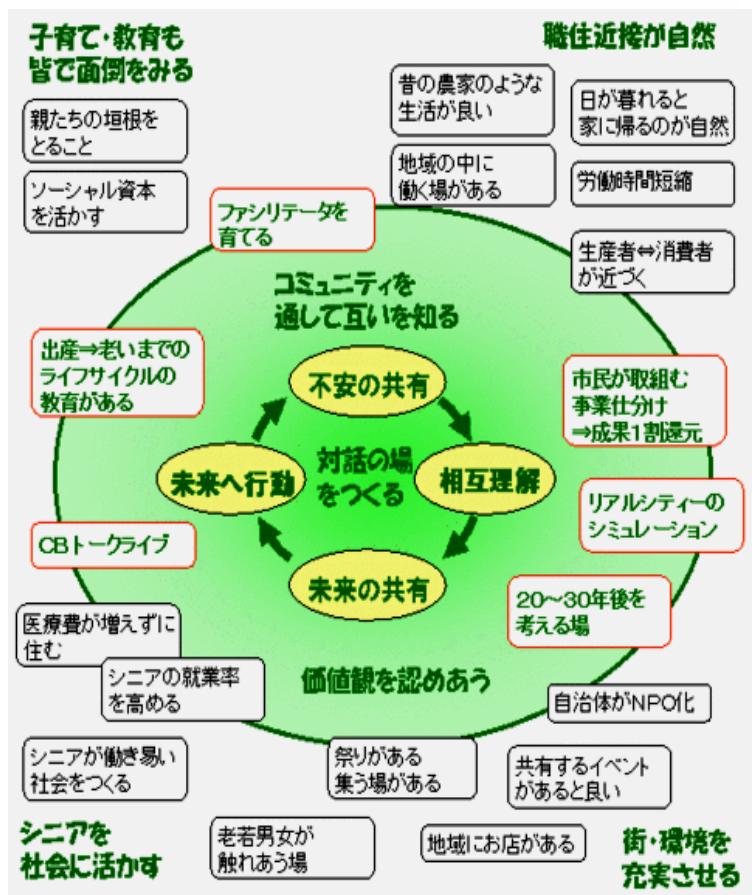
シニアを社会に活かす

- ・シニアが働きやすい社会として、
シニアの就業率を高める
- ・老若男女が触れ合う場をつくり、
出産 老いまでのライフサイクル
を学ぶことができる。
- ・シニアの就業率が高いと医療費も減る

地域で支えあう

- ・地域に根ざした社会作り
- ・地域資源を外から見つける（若者視点）
- ・東京と同等化せず地域特性を活かす
- ・コミュニティビジネスを活かす

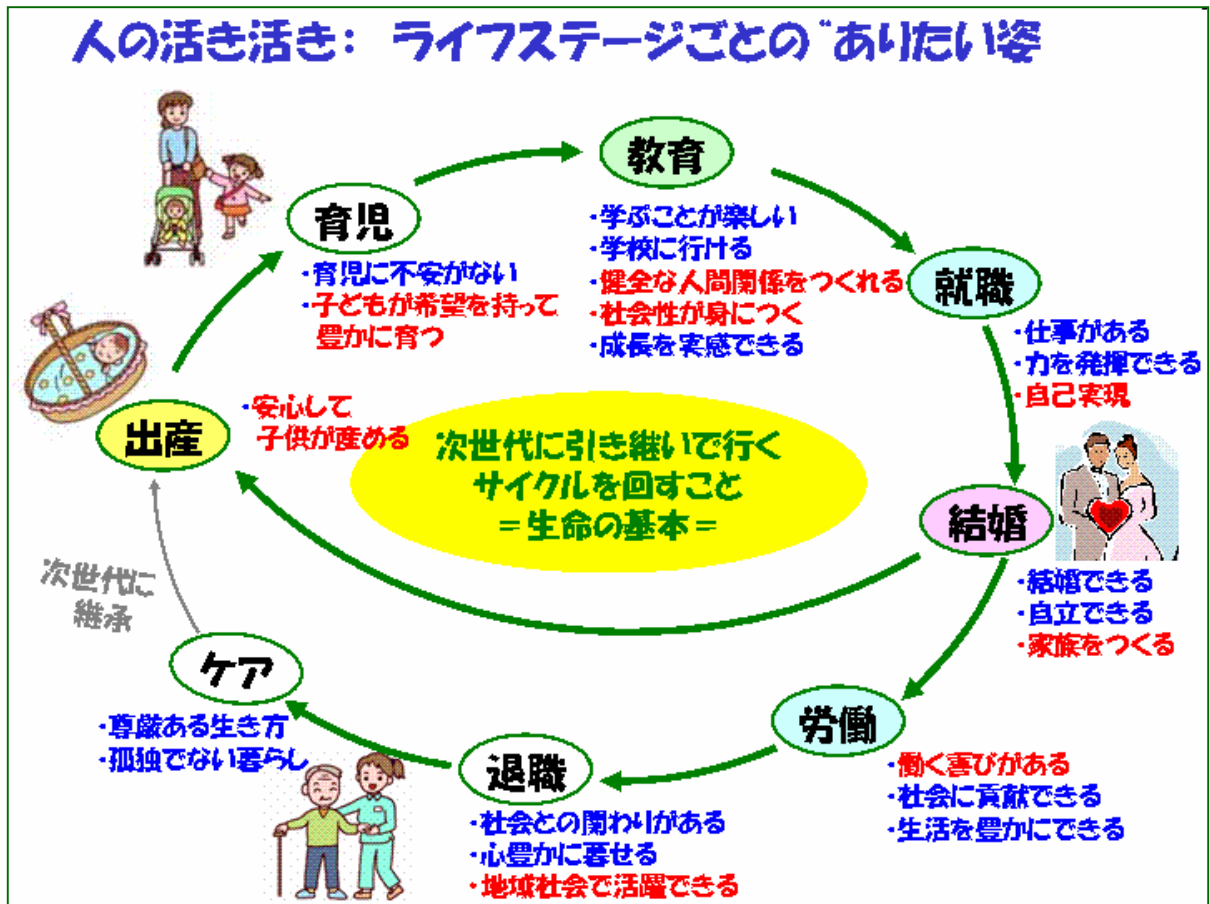
「若者・子ども・年よいがツナガリのある街」



住みやすい地域（社会）を作るには教育が大切

- ・生活に根付いた基本的な教育を子どもの時から
～ゴミの分別、環境への意識
- ・地域に対する愛着も生まれ、地域の絆を伴った、
より住みやすい地域になっていくのではないか。

【付録】人の生き生き:ライフステージごとの“ありたい姿” (第8回検討会 9月18日資料より)



【付録】地域がくらしの基本 “医”・“食”・“住”をつくる (第8回検討会 9月18日資料より)

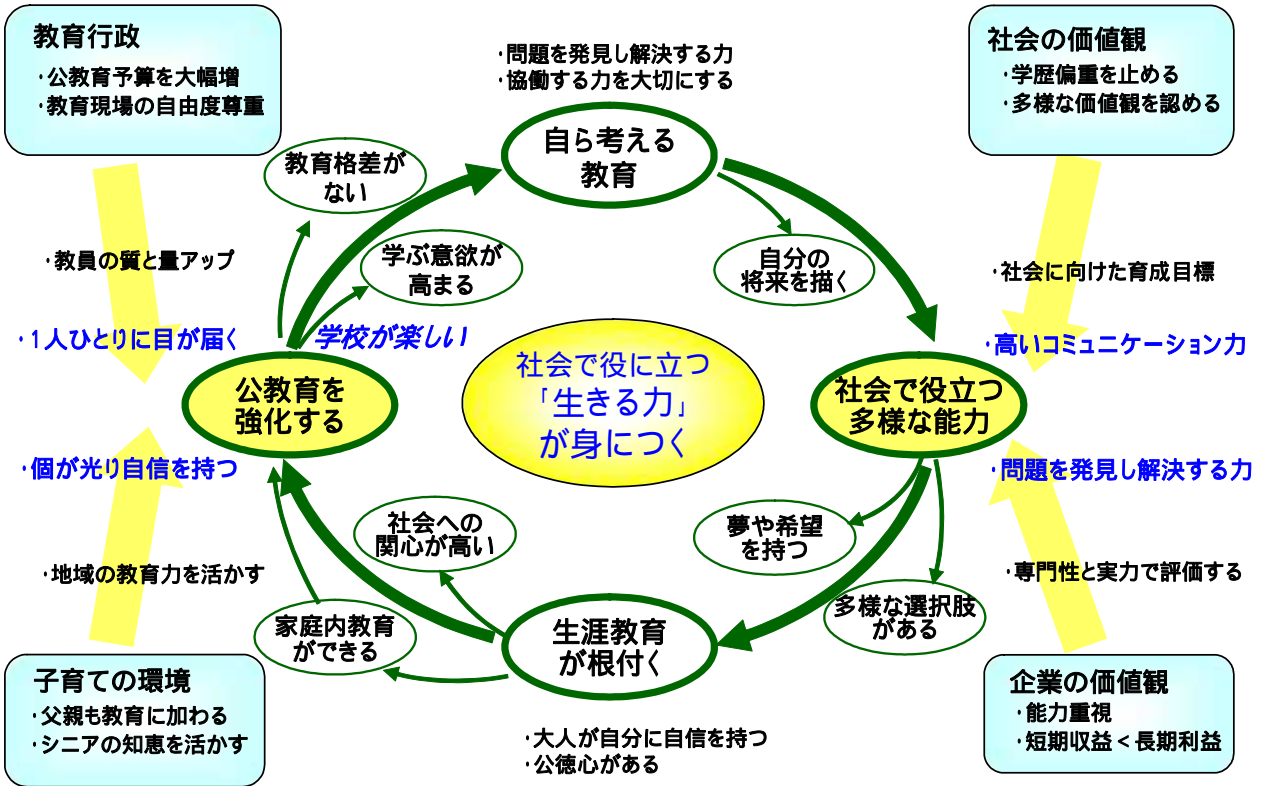


ディスカッション 「ありたい姿を実現する方法？」

= これまでの検討会纏めも踏まえて =

教育をどうするのか>

【基本コンセプト】



【実現に向けた方策案】

ありたい姿

考えたいこと

学校で学ぶことが楽しい
誰でも平等に学ぶ機会がある
子どもたちが大切にされている
社会全体で子育てを支える

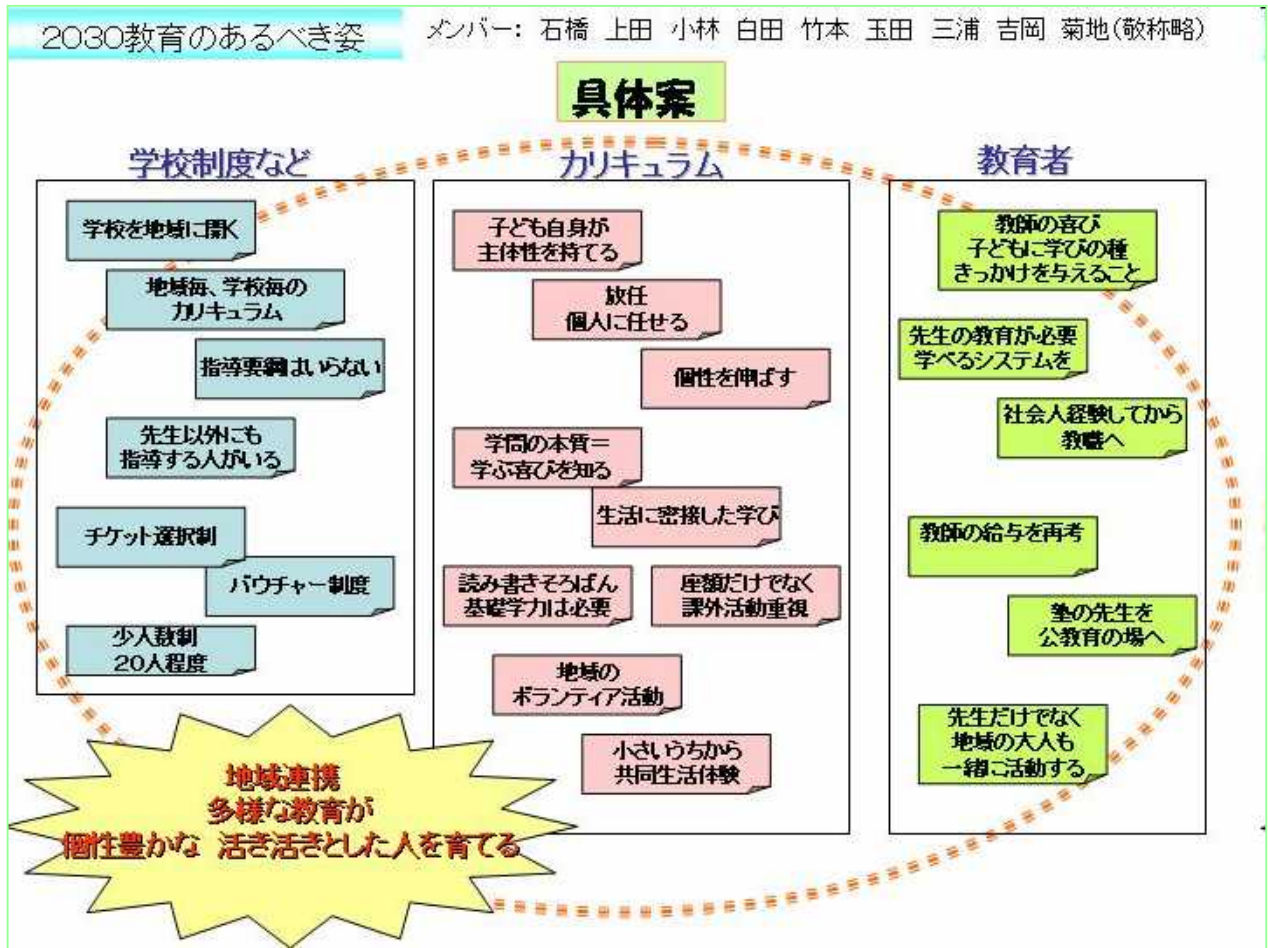
社会の問題への関心が高い
コミュニケーションする力がある
人としてのモラルが高い

学ぶことの目的を社会が共有する
「生きる力」の意味を真に理解する

公教育の充実
公教育の教員の質と量を高める
地域が連携し多様な教育を行う
一人ひとりの特性に合わせた教育を行う
就学前教育を充実し全員に行う

社会で役立つ多様な能力を身に付ける
他の人/社会に関心を持ち、主体的に行動する人を育む
学校が自分でゴールを設定できる場所を目指す
学校は個が活かされ認められる居場所を目指す
様々な生き方を考える体験機会の充実を図る

学歴偏重の社会価値観を変える
高等教育の多様化と入試制度の抜本改革
一人ひとりの価値観が変わる働きかけをする



【付録】 未来を創る教育の在り方 (第5回検討会 6月28日プレゼン)

解決策 その4 地域コミュニティが共育する

「教育」とは「共育」 …「教え育てる」から「共に育む」へ

学校 + 塾 + 学童保育 + 企業 地域コミュニティのインテグレーション

